

韓国てんかん支援センター 視察報告



日本てんかん協会国際委員会/東北大学病院てんかん科
藤川真由

2024.3.26-29 東北開発記念財団海外派遣援助事業
2024.6.20-21 韓国てんかん学会参加時

【発足経緯】

- 2018年 韓国てんかん学会に「てんかん偏見対策委員会」が発足
- 2020年7月 National Epilepsy Care Center 開所
- 2024年2月 Korean Epilepsy Support Center (KESC ; てんかん支援センター) に改名しIBE Chapter 登録

韓国

KESC 発足経緯



【概要】

- 資金：保健福祉部（≒日本の厚労省）より6億3,300万won/yr（≒7000万円/年）
- 特徴：医療と福祉をあわせもつ事業
- 人員：てんかん専門医（施設長），ソーシャルワーカー3名，看護師1名，パート看護師1名，心理士1名，
- 事業：
 - 医療
 - 手術ロボット導入と外科手術の活性化（i.e., ROSA1台，韓国製4台）
 - 脳磁図導入と全国検査予約システムの運営
 - 相談支援
 - 医療相談（i.e., 担当制医療相談，電話/遠隔，1時間/日，1.2万円/MD）
 - 福祉相談や支援（i.e., helpline, e-learning, 自殺予防事業，オンライン認知行動療法，自助グループ，遠隔就労支援プログラム）
 - 啓発活動（i.e., ILAE Epilepsy Day, Purple Day）
 - その他（法律相談，発作検知犬3犬貸与，発作検知デバイス貸与，患者家族旅行費支援5万円/家族）
 - 政策開発

KESC 概要



히망
(ヒマン; hope)

3

電話・遠隔相談システム※



無料配布グッズ



スタッフルーム



集団プログラム室



KESC 施設

※電話・遠隔相談システム

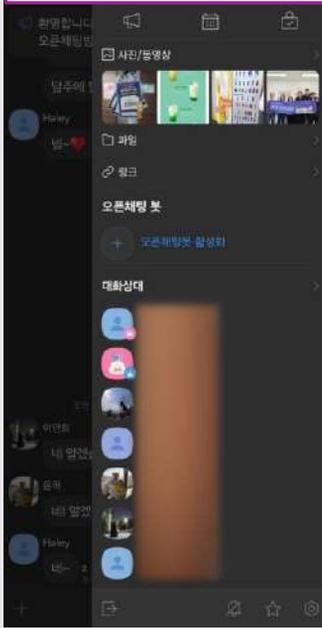
- Epilepsy Helpline
- 自殺予防事業
 - PHQ-9, MINI PLUS スクリーニング
 - 各地域精神健康福祉センターへ連携
- オンライン認知行動療法
- 利用者情報登録システム（≒電子カルテ）
- 登録数：4,550人
- 電話相談数：5500件/年

4

SNS 参加募集・実施報告



開催地毎チャットグループ



飲食物準備



自助グループ開催



余暇活動



KESC 自助グループ

- ・ソウル開催から全国各地へ拡大
- ・ファシリテーターはSW
- ・各グループ6-10人募集
- ・参加募集：SNS "Instagram"、HP
- ・連絡手段：SNS "Kakao Talk"
- ・各地5週間連続開催のみ
- ・終了後のチャット継続は、メンバー判断に託す（退会or継続自由）
- ・※センター全費用負担（会議室、会食費）
 - ・各スタッフにクレジットカードと携帯電話支給

5

就労支援プログラムのテーマ例：

1. 履歴書や自己紹介書を書くとき
2. 面接を受けるとき
3. 自己紹介書と面接の時、どんな態度がいいだろうか？
4. 職場の同僚がてんかん患者だったら、私はどのように行動するか？
5. 職場でてんかんの薬を飲んでるのが気づかれたとき
6. 業務中に発作を起こしたとき - 他の人は気づかなかったとき
7. 業務中に発作を起こしたとき - 他の人も気づいたとき
8. 会食の席に行かないといけないとき
9. 会食の席でお酒を断るとき
10. 外来診療のために休暇を使わなければならないとき
11. その他に心配な状況があったら一緒に話しましょう



KESC 就労支援 プログラム

- ・オンラインプログラム
- ・年4-6回開催
- ・各5セッション
- ・参加者4-6人
- ・テーマ
 - ・近況報告
 - ・キャリア本の読書討論
 - ・スライド資料
 - ・ディスカッション

6